

東広島植物園では、園内での活動を中心に、温室や圃場で見られる季節の花など、さまざまな情報を紹介しています。  
・本施設は、宮島自然植物実験所、総合博物館、CSR(総合博物館公認学生ボランティア)など多方面から支援を受けています。

### CSR デジタルミュージアムによる活動



東広島植物園では、毎週金曜日の午後、管理室にて、CSRの活動を行っています。キャンパスフィールドで観察した生きものや採集してきた植物を図鑑を使って種名を確認しながら、お互いに情報交換をしています。

採集してきた植物や種子は、園内の施設を利用して栽培することが可能です。また、管理室内で標本作りを行うこともできます。調査したものは、広島大学デジタルミュージアム内にある「キャンパスの花ごよみ」、「キャンパスの生き物」のページにて、情報



公開を行っています。4月から新メンバーも増え、活動も活発になってきています。CSRでは、興味のあることを調査発信することが出来ます。同時に、キャンパスの環境保全にも取り組んでいます。ぜひ、Webサイトをご覧ください。



### キャンパスのヘビイチゴ

3種の実の違いを比べてみてください



#### ヘビイチゴ

果実の直径  
約1.5cm



葉は互生し、3小葉のみ。果床の表面は光沢がなく淡紅色。田のあぜや湿地に生育。



#### ヤブヘビイチゴ

果実の直径  
約2cm



葉はヘビイチゴより大型で濃緑色の3小葉。果床の表面は濃紅色で光沢があり大きい。やぶや林の縁に生育。



#### オヘビイチゴ

果実の直径  
約3mm



草全体はかなり大型で3小葉のほか5小葉が混生。果床の表面は赤くならず、しわがある。田のあぜなどに生育。

### 【平和大使】No.1 アメリカハナスオウ

世界中から届いた苗木や種子が大切に育てられ、平和を希求する精神とともに引き継がれています。

アメリカの中部から東部に分布する落葉高木。幅10cmほどのハート型の葉が目を引きま。花期は4~5月で1cmほどの蝶の形を思わせる淡紅色の花を咲かせます。南イリノイ大学から送られてきた種子が、今では成木になっています。



### 栽培実習・R5年春コース



野草茶を作るために、ヤハスエンドウを採集しました。

R5年春コースは、コロナ禍の影響も収まり、予定通りのスケジュールで始まりました。今回も多く学部から参加申し込みがあり、毎回、積極的に作業に取り組まれています。学生さん同士の連携もよく、楽しい実習となっています。来月からは、支柱立てやネット張り、わき芽とれなどを行う予定です。



### イシモチソウの自生地

2月21日に、自生地の草刈り作業を行いました。この保全作業は、毎年冬季に実施してきましたが、ここ数年は、富栄養化、乾燥化が進み、昨年からは、この場所でイシモチソウが確認出来ていません。キャンパスの内のまとまった自生地が消失してしまう恐れがあり、現状の調査が必要です。



### ががら山の自然散策

3月28日、学童保育の子どもたち10名が、ががら山のハイキングを行いました。4月13日には、グローバル対策セミナーAの授業にて、大学生とががら山の植物ガイドを行いました。みなさんが利用されることにより、キャンパスの自然が身近な存在になりつつあります。



### 園内の花

#### シラン *Bletilla striata*



ラン科 原産地は日本・台湾・中国。暑さ、寒さに強く古くから栽培されている。花期は4-6月で紫色のほか、ピンクや白色もある。日向の草原に自生する地生ランだが、野生種は準絶滅危惧種。

### 園内の花

#### ケラマツツジ *Rhododendron scabrum*



#### ツツジ科

分布は、沖縄・奄美大島。溪流沿いの岩場や山地の林縁に自生。酸性土壌を好む。江戸時代から栽培されるが、乱獲により天然の個体数は激減している。花期は3-4月。



#### 【お問い合わせ先】

広島大学 瀬戸内 CN 国際共同研究センター 東広島植物園

TEL:082-422-7111 (内線2842)

E-mail: tshioji@hiroshima-u.ac.jp